

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年7月31日 (17:00~17:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 日高・上園・三森・奥村・サトウ・本田・須藤・加藤・河野・保坂・黒田・吉村・玉井・白土・屋上 NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	8人	7人	人	人	15人

**前回の改善計画**  
 情報共有・職員間の声かけなどをしながら、職員全員が感性を磨くことでご家族やご本人の本当の気持ちを読み取れる感性を身につけていけるよう努力していきます。

**前回の改善計画に対する取組み結果**  
 職員間で声かけ合い、話し合い、不足を補いながら情報共有し、職員全員がご家族やご本人の気持ちを読み取る感性を身につけて行けるように取り組めました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	8			15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	8	7			15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	8	1		15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	8	7			15

**できている点** 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ミーティングや申し送りで情報共有し、送迎時や手帳等介護者とコミュニケーションを取り、ご本人や介護者が必要としている支援、サービスの提供ができています。

**できていない点** 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 職員のスキル不足から、本人が慣れていない時期の声掛けや気遣いについて不十分な支援となってしまうことがありました。

**次回までの具体的な改善計画** (200字以内)  
 ミーティングや申し送りでの情報共有の他、支援の中で得た情報はラインワークを活用して即時、職員間での情報共有を行ない慣れていない時期の支援に役立てサービスを提供していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月26日(16:30~17:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 日高・上園・三森・奥村・サトウ・本田・須藤・加藤・河野・保坂・黒田・吉村・玉井・白土・屋上NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	10人	人	人	15人

前回の改善計画	日々の関わりの中で常に観察の意識を持ち、気づいた事は発信する。 ミーティングや会議等で発言したり振り返り職員間で情報を共有し次の対応に活かす。
前回の改善計画に対する取組み結果	日々観察の意識を持ち、気づいた点は記録に残し、当日の日直がまとめたものを発信し情報共有している。 ミーティングで振り返り次の対応に活かしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	5	10			15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	10			15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		13	2		15
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		14	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 日々の関わりから得られる気づきや利用者やご家族の意見等は情報共有し、利用者の目標を職員間で共通認識し理解できる。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 日々の関わりについてミーティングで話し合っているが、職員個々で考え方や感性が違い降り振り返り検討の場が不十分な事がある為、対応に違いがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 職員が同じ統一したケアで行えるように発信した情報に質問があれば職員間で確認しチームとして補う。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年8月26日(17:00~17:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 日高・上園・三森・奥村・サトウ・本田・須藤・加藤・河野・保坂・黒田・吉村・玉井・白土・屋上NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	14人	1人	人	15人

前回の改善計画	ご利用者やご家族とのコミュニケーションや関わりを通じて生活環境や状況を把握し発信する。発信された情報は各自で事前に読み込んで、細部について予め調べておき、自分の意見をまとめてアイデア等を提案していきけるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	ご利用者やご家族とのコミュニケーションを通じ、生活環境や状況を把握するために、気づいた点や得た情報は発信し情報共有できているが、自分の意見をまとめて提案することがあまり実践できていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		8	7		15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	9	6			15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		13	2		15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	7	8			15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	8	7			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人の状況に合わせた基礎的な介護ができています。気持ちや体調の変化など気づいた点はすぐに報告し情報共有し、即時に支援できています。関わりの中でご希望や要望を引き出せるよう心がけ、その内容はミーティングやラインワークで発信し、共通認識して対応しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員個々のスキルレベルや事業内容の違いにより、全員が以前の暮らし方を10個以上は把握していなかったり、本人の声にならない声を言語化できていない事があります。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
担当者や関わった職員が得た情報を発信し、以前の暮らし方や本人の声にならない声を言語化したものをチーム全体で共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年9月30日(16:30~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 日高・上園・三森・奥村・サトウ・本田・須藤・加藤・河野・保坂・黒田・吉村・玉井・白土・屋上NS

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	9人	2人	0人	15人

前回の改善計画	ご本人やご家族・地域の方との関わりの中でご本人の生活スタイル・人間関係・地域資源を理解し職員間で情報を共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	ご本人やご家族は地域の方々との関わりの中でご本人の生活スタイル・人間関係・地域資源を理解し職員間で情報共有する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		15			15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	13			15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		11	4		15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	3	9	3		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 基本的な生活スタイル・人間関係を理解し、それらが継続できるように支援できています。 可能な利用者についてはご家族やケアマネから情報を得て、地域との関わりや本人がどのように過ごしているか朝礼やラインワークで情報共有できています。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 独居や高齢者世帯が増えている中で、近隣の方々の支援など地域資源について細やかな情報把握、共有が不足しています。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 支援の中でご家族や地域の方とコミュニケーションをとり、その中で得た情報はラインワークや各ファイルで情報共有して生活スタイルや地域資源を把握する。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年9月30日(17:00~17:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 日高・玉井・上園・屋上NS・白土・奥村・加藤・サトウ  
黒田・本田・須藤・河野・保坂・三森・吉村

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	13人	2人	人	15人

前回の改善計画	ミーティングや回覧を活用して職員間で情報共有し、ご本人の状態・ニーズに合わせた柔軟な支援を提供し地域資源を活用し支援を行っていく共に、地域にとって必要な活動 資源 となるものを地域の方々に協力しながら構築していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	LAINWORKS 等のツールを活用し利用者の状態の変化やニーズ・地域資源の情報共有し、地域の方々の協力も得ながら状態にあわせた必要な支援ができています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	11			15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	9	6			15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	7	8			15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	8	1		15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
自分達の事業所だけで支えようとせず、地域の方々との関わりを持ち、地域資源を使って支援できています。ご本人、ご家族の声に耳を傾け、体調や状況・ニーズに合わせ緊急での対応等必要に応じた適切な支援を提供できています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご本人の変化する状態を把握する事が難しく、様々な角度からの情報にマッチした柔軟な支援ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
多職種協働会議・担当者会議を行ない、様々な職種とご本人・ご家族との意見交換を行なっていき、ご本人の状態に合った柔軟な支援提供につなげていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月16日(16:30~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 吉村・日高・上園・三森・奥村・サトウ・本田・須藤  
加藤・保坂・黒田・佐々木・玉井・屋上NS・松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11人	4人	人	人	15人

前回の改善計画	地域のイベントや施設行事の際に地域の方々から情報を得て地域の活動やイベントに参加する機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域学校行事やイベントなど毎年恒例となっているものもあり、その他にも地域の方々から情報を得て、利用者さんの状態に合わせてながら可能なイベントには参加し交流する機会を増やせています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	9	6			15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	6	9			15
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	9	6			15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	9	6			15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
地域のイベントに参加したり、ふらっとホームや行事に沢山の人が訪れ、事業所以外の方と交流をもてています。 自治体やその他サービス機関との会議には参加しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
自治体やその他サービス機関との会議には担当者が参加しているが内容等に関して現場のスタッフが把握していないことが多い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
地域の方々と共に地域イベントや施設の企画内容を充実させる。 自治体やその他サービス機関との会議の情報は担当者から発信されたものを確認する共に外部の会議等にも参加機会をもっていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年10月16日(16:30~17:00)

7. 運営

メンバー 吉村・日高・上園・三森・奥村・サトウ・本田・須藤  
加藤・保坂・黒田・佐々木・玉井・屋上NS・松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	5人	人	15人

前回の改善計画 自分の意見を伝えるステップに取り組む。  
 ① 根拠を持って自分の意見を固める。②周りの意見をしっかりと聞く。③ 自分の意見の「結論」から伝える。⇒「私はこう思います!」④ その意見の「根拠」を伝える。⇒「なぜなら〜だから!」  
 ⑤ 自分の意見に対する他人の意見を問いかける。⇒「どう思いますか?」⑥ 疑問や反論に応える。  
 ⑦全員の意見を交えて、最善の結論を出す。

前回の改善計画に対する取組み結果  
 日常業務や定期的な会議で個々が意見を出す場はあるが全員の意見を交えて最善の結論を出すところまでは至っていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		11	4		15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	8	7			15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	7	8			15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	9	6			15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ご利用者さんやご家族・地域の方々など事業所に関係されている皆様からのご意見や苦情はご意見シート等で職員間で情報共有し、その都度対応し運営に反映・改善されています。  
 地域活動については地域の方々やボランティアと協力しながらイベント等の取り組みを行なっています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 個々のケース会議を別時間で行なっているが全体の小規模会議においてもケースについても個々のケースの話しとなってしまうので職員が事業所のあり方について意見交換をする時間が無く個々の意見を交わし合ったり全員の意見を交えて結論を出す機会が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
 ①ユニット会議(介護職員による個別ケア・個別支援会議)②計画・リーサブ会議(計画作成と介護職員による事業者間連携システム・ケアプラン・モタリング・評価等会議)③多職種連携会議(計画作成・NS・PT又はOT・栄養・介護による多職種間連携支援会議)④小規模合同会議(法人・施設間事項報告、連絡、相談等の伝達・事業所のあり方【企画・内容・体制・システム等】・ご意見、苦情等・外部研修活動等会議)と再設定し、日々の意見は主任・リーダー・サブへ伝達し内容により分類(①~③)して上記の会議にて取り上げ意見交換していき④の会議にて報告し統一した対応をおこなえるシステムを再構築する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年11月27日(16:30~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 吉村・日高・上園・三森・奥村・サトウ・本田・須藤  
加藤・保坂・黒田・佐々木・玉井・屋上 NS・松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	10人	0人	1人	15人

前回の改善計画  
地域連絡会等に参加できる環境を整え参加した職員は会議や回覧で報告し情報を共有する。

前回の改善計画に対する取組み結果  
地域連絡会について参加できる職員は少ないが、参加した職員は必要な情報は回覧や報告書で報告し情報共有できています。  
研修について制度的な研修は多く参加できているが技術向上や知識のための内部研修が以前よりも減ってきています。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	6	1	0	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	8	6	1	0	15
③	地域連絡会に参加していますか	6	9	0	0	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	10	0	0	15

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
リスクマネージメントについて、理解が深いとは言えない部分もありますが、ヒヤリはっと報告や事故報告、資料等やミーティングを通して取り組んでいます。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
多くの知識や技術を学ぶ機会である職場内研修は職員の数や時間の問題のためか、以前に比べて不定期であり行われていません。地域連絡会についてよくわからない職員がいました。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)  
地域連絡会や研修に参加した職員はその内容を会議の場や回覧で報告し情報を共有する。知識や技術向上について研修のみでなくわからない点や不安な点はリーダーに伝え情報を得てスキルアップにつなげる。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和1年11月27日(17:00~17:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 吉村・日高・上園・三森・奥村・サトウ・本田・須藤  
加藤・保坂・黒田・佐々木・玉井・屋上NS・松本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8人	6人	1人	0人	15人

前回の改善計画	個人情報の取り扱いについて、職員各個人が意識を高め、破棄する際はシュレッダーの使用を徹底します。
前回の改善計画に対する取組み結果	各自が意識を持ち、個人情報が記載されている書類を廃棄する際はシュレッダーを使うように注意できました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	10	5	1	0	15
②	虐待は行われていない	12	3	0	0	15
③	プライバシーが守られている	8	7	0	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	3	2	0	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4	8	3	0	15

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
身体拘束・虐待について職員研修や多職種での話し合いを行ない環境等工夫し身体拘束や虐待は行われていない。帰宅願望があるご利用者さんに対して職員がご本人にとってよい傾聴寄り添って支援を行なっています。個人情報は職員が意識を持ち管理を行なっています。必要に応じて計画作成担当者が後見制度を活用しています。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
介助が必要なご利用者さんの急な動き出しの時に「ちょっと待ってください等」の声掛けをしてしまうことがあった。ご利用者さんと一緒に同一フロアにいるため職員間の情報交換が慣れあいになってしまっていることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご利用者さんの意向を聞き、職員はゆとりを持って支援をしていく。個人情報の取り扱い・鍵・話す場所内容への配慮を徹底していく共に新人職員が入職した際は周知を図っていく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 翠燿会	代表者	理事長 津川恵美子	法人・ 事業所 の特徴	顔なじみのスタッフにより、ご利用者やその家族等のニーズに適宜対応する為に必要なサービスを柔軟に組み合わせて提供する事により、ご利用者様の地域生活を総合的に支援し、安心を提供いたします。また、高齢/障害/児童といったように対象者を限定せず、インフォーマルなサポートの拠点を目指し、多職種やサテライトとの協働により、きめ細やかな対応・支援へ取り組んでいきます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 グリーンヒル八千代台	管理者	日高和枝		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	職員間の意思統一に向けて声かけの徹底をより一層心掛ける。各会議で議題として出たものは会議録に色分けし、意見や評価が解りやすく提示できるようにする。	各会議で出された意見等は、会議録の上部に載せ、前回の会議からの流れが判るように矢印や色付けをしています。職員間での声掛けの徹底も行い共有に努めています。	改善計画を意識して、業務に取り組んでいることがわかる。ご本人を主体として、多職種や地域の方々などその方にあった支援を考えているとわかりました。	日々の中で、意見の吸い上げを行ない、各定例会議で、支援や事業所の在り方く体制やシステム等>を話し合い統一を図る。 LINEWORKSで即時の情報に意識を持つ。
B. 事業所の しつらえ・環境	利用者様の作品の展示・掲示スペースを設置していきたい。 靴の履き替える場所が狭いので、ご利用者様の誘導ペース配分をして安全に心掛けていく。	ご利用者の作品展示については、入り口壁面に展示できている。また、勝田台ステーションギャラリーが開催時は展示。 靴の履き替えは、運転と添乗の職員で安全に配慮した乗降誘導を心掛けています。	開放的で明るく動線も判りやすいが、靴の履き替え場所が不明瞭で、慣れていないと施設内に土足で踏み入れ、衛生面ではどうか。外壁面は、西北支会さんや西中生徒さんが描いている姿も見ており感動します。	ご利用者の作品展示の継続と季節感のある環境整備を心掛ける。靴の履き替えは、床面の案内表示の他に自動ドアにも案内を増やす。場所の狭さもあるので、ご利用者誘導時も安全に留意する。
C. 事業所と地域の かかわり	地域行事には今後も積極的に参加して交流を図っていく。 施設行事等の案内にはスムーズに参加できるように地図等を載せていく。	地域学校行事やイベントなど毎年恒例となっているものもあり、施設行事イベントやふらっとホームにたくさんの方々を訪れ、交流出来ている。案内状に地図を載せたり、出入り口に看板を出し施設の場所を表示。	地域の祭りに出向いたり、事業所の夏祭りや餅つきに地域の方々を訪れたり地域の方々の認知度もあって、地域との関わりに積極的な印象がある。他地区でも顔の見える関係づくりをしていきたいと思う。	地域行事及び施設行事への参加・交流の継続を図りながら、ご利用者が地域で暮らしていく為、地域資源などの情報をいただき支援につなげる共に、地域の方々へ認知症の人や家族を温かく見守っていただけるように啓発活動をおこなっていく。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	地域行事に参加し、ご利用者の方々が地域での生活が継続できるように交流の場での意見交換を行ない、「地域で支える」ことについて自治会や社会福祉協議会における支会等の活動に参画していく。	地域の方々のご協力をいただき、ご利用者を「地域で支える」支援が出来ています。地域行事の参加やふらっとホームでの情報交換を行いながら、社会福祉協議会と連携を取りながら、学校行事（福祉授業等）への活動も行う事が出来ました。	外出の機会がとても多い印象。写真の利用者や家族の表情を見てとても満足されていることが伝わります。 職員の方々は、常に地域にアンテナを張っているのがわかります。	これまで通り地域行事に積極的に参加し、地域の方々との交流を行なっていく。 また、「地域で支える支援」として、福祉教育などの活動にも参加できるよう社会福祉協議会との連携・参画していく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取りながら地域の課題を見つけ出し、解決に向けての取り組みを一緒に考えて行なうことで、地域の支え合いの輪が広がっていくように食堂やサロン、カフェの開催に向けて協働していく。	地域包括支援センター、社会福祉協議会・八千代台西北支会の方々と共に地域の“生活困窮世帯等の子供達への支援”“認知症を患った方、その介護者への支援”という課題取り組みに向けて『世代間交流カフェ（共生型カフェ）』の協働開催ができています。	運営推進会議では、活動の内容の説明や具体的改善策などがとても解り易い。地域の心配な方の事例検討については、地域包括も率先して協力していきたいと思えます。	自治会や地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携を取りながら地域の課題を見つけ出し、解決に向けての取り組みを一緒に考えて行なうことで、地域の支え合いの輪が広がっていくように今後も共生cafe ふらっとホーム等を行なっていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	日頃から防災について、地域消防団・自治会等と取り組み意識を共有し、地域消防訓練、施設の防災訓練へ参加していくと共に、防災・減災について地域で物資や知識を共有してお互いに協力し合えるように体制を整えていきたい。初期消火訓練や通報システム等、施設防災設備確認を職員がしていく機会を持つ。	日頃から防災についての意識を持ち、防災訓練の実施で防災設備の確認が出来、地域の方々と共に訓練（防災寺子屋など）参加を通し、物資や知識の共有もできました。	段ボールで作って体験する等実践に役立つ研修や、地域の福祉避難所として、防災・災害に対する意識が高い。隣に用水路もあるので、水害に関してはどこよりも取り組んでいる。災害時の施設の動きや計画について、地域包括も意識・把握に努めたい。八千代台圏域の介護事業所での防災・災害について一緒に考えていきたいです。	日頃から防災について、地域消防団・自治会等と取り組み意識を共有し、地域消防訓練、施設の防災訓練へ参加していくと共に、防災・減災について地域で物資や知識を共有してお互いに協力し合えるように地域の訓練にも引き続き参加し、協力体制を整えていきたい。